

修学旅行に行ってきました①(10/4・5)

10月4日(水)と5日(木)に、津・明和・鳥羽・志摩方面に修学旅行に出かけました。



前日の晩は雨模様で大変心配しましたが、出発の時には、晴れ間ものぞく天気となり、出発式の後、多くの保護者の方の見送りのもと、みんなで元気に出発しました。

三重県人権センター

最初の訪問先は、津にある三重県人権センターでした。人権センターでは、これまでも性の多様性や人権についてお話を聞かせていただいたことのある「反差別人権研究所みえヒューリア」にお勤めの本江優子さんといっしょに、この前に出合ってから、自分はどうのように人権問題に向き合うようになってきたのを考える時間を持ちました。話の最後に、一人一人が考える「しんゆう」という漢字を伝え合いました。



バスの中では、クイズや到着時刻当てゲーム、爆弾ゲームなど、各班で準備をしたレクリエーションをしていたので、あっという間に、次の目的地に到着しました。

いつきのみや歴史体験館

いつきのみや歴史体験館では、2つのグループに分かれ、「火起こし体験」と「平安時代の遊びなどの体験」を交代して行いました。ボーイスカウトなどで火起こしの経験がある子どもいましたが、天気がよくなったこともあり、煙までは出るものの、残念ながら、火をつけることができたグループはありませんでした。平安時代の遊びでは、「盤双六」「貝覆い(貝合わせ)」「かりうち」「毬杖」「蹴鞠」をしたり、平安時代の衣装を着させてもらったりしました。



鉄板で肉を焼いて食べました

昼食は、一人一人が鉄板で肉を焼いて食べました。友だちの分の水やたれを入れている姿や、「ぼく、さっき大きい肉食べたから、これ食べていいよ。」と友だちに大きい肉を食べるように進めている姿などがみられ、子どもたちの優しさにほっこりした昼食になりました。



志摩自然学校

志摩自然学校では、当初、シーカヤックを行う予定でしたが、残念ながら天気の関係で実施ができませんでした。その代わりに、海の生物に触れる体験や、屋内運動場で、班で活動する体験を行い、子どもたちは大満足でした。海の生き物に触れる体験では、海水温の上昇による生態系の変化やごみ等の環境問題についてのお話を伺った後、トレーに入れてもらったヒトデを観察しました。ヒトデをさわったり、また、ひっくり返して、普段見ることの少ないヒトデの足(管足)や口を確かめたりしました。その後、屋内運動場に移動し、「チームビルディング」というアクティビティを体験しました。「チームビルディング」とは、「なかがまが思いを一つにして、一つのゴールに向かって進んでいける組織作り」を目的に行われる活動で、今回は、話をしないで誕生日ごとに一列に並んだり、班ごとに、手をつないでフラフープを順に送っていったり、また、短く切った雨樋を一人一人が持ち、いろんな大きさのボールを目的地であるカゴまで運んだりする活動を行いました。子どもたちは、互いに知恵を出し合い、協力して、ゴールを目指していました。

